



卒業証書・学位記授与式／修了証書授与式



短期大学 入学式／専攻科ヒューマンケア専攻 入学式

## CONTENTS

2025年度 聖句

「イエス・キリストは、きのうも今日も、  
また永遠に変わることのない方です」

(ハスライ人への手紙 第13章8節)



2024年度事業報告・2025年度事業計画	2
退任あいさつ、新任教職員紹介、人事	4
卒業生の活躍	6
TOPICS	7
2024年度決算書・2025年度予算書 概要	8



# 学校法人和泉短期大学

## 2024年度事業報告 2025年度事業計画

理事長 須田 拓



和泉短期大学は「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」を建学の精神とし、「愛と奉仕」をスクールモットー

として掲げ、愛と奉仕の精神を持つ保育・福祉の担い手の養成に努めて参りました。2024年度は児童福祉学科175名、専攻科19名の卒業生を送り出し、2025年度は児童福祉学科127名、専攻科8名の入学者を迎えました。

専攻科については従来の介護福祉専攻を2024年度からヒューマンケア専攻にリニューアルいたしました。専攻科の教育プログラムが、人間を子どもから高齢者までトータルで理解し、障がいを深く理解した、高いコミュニケーション能力を持つ保育者を養成するためにも用いられることを願っています。

保育者養成を取り巻く状況は大変厳しく、保育を志望する学生が激減し、どの保育者養成校も入学者が大きく減少しています。しかし、保育・福祉の担い手の養成は地域社会にとって極めて重要です。本学としても、高校への呼びかけや社会人向けの長期履修制度の整備など、様々な取り組みをしています。今後、保育志望者が継続的に興されてゆくためには、地域社会全体での取り組みが必要です。既に相模原市の担当局・担当課と協議を開始していますが、今後、他の養成校や他市、そして幼稚園・保育園・こども園等とも連携を深めてゆきたく思います。

このような中、2024年度・2025年度は特に以下の6項目を重点課題として歩みを進めています。

### 1. 建学の精神の深化と継承

保育者養成を巡る環境が大きく変化し、それに対応していかなければならない時であるからこそ、学校として毎週の礼拝を大切にし、この学校を生み出した源であるキリスト教信仰にしっかりと立ち、建学の精神を継承して参りたく思います。2024年度からは、全教職員が共通の基盤と理解に立ち、心一つにして歩みを進めてゆくために、修養会を実施して、建学の精神と本学の目指す保育者養成の結びつきについて学ぶ時を持っています。

### 2. 将来構想の策定

2024年度も全学的な将来構想会議を3回開催し、本学がこれから歩むべき道について、様々な観点から意見を交わしました。これまでも、この会議での議論の中から、こども支援ソーシャルワーカー、ヒューマンソーシャルワーカーの和泉独自資格の設立や、専攻科のリニューアルによる、これからの時代のための質の高い保育者養成の取り組みが生まれてきました。2024年度の議論を踏まえて、多様な学生のサポート充実のために、2025年度よりスクールソーシャルワーカーを任用し、ウェルビーイングルームを開設いたします。

2025年度もこの会議を継続し、子どもの成長を支援する社会の実現のために必要な、これからの時代の保育者・福祉従事

者像を示すと共に、保育志望者がさらに継続的に興されてゆくために、そしてこの地の保育・福祉の質の向上のために、アイデアを出し合い、力を合わせたく思います。

### 3. 地域連携・リカレント教育の推進

本学は、これからも地域の保育・福祉のために必要とされる学校であり続けたいと願っています。2024年度も「はっぴい」「すまいる」を通じた地域の子育て支援に取り組みましたが、2025年度もこれを継続いたします。また、卒業生の支援及び地域の保育向上に寄与するため、8月にリカレント講座を実施し、多くの保育者の参加をいただきました。2025年度も8月に実施すると共に、本年度は喀痰吸引等研修も実施したいと願っています。

2024年度は、地元のJ3サッカーチームであるSC相模原のホームゲームにおける託児室を、SC相模原及び(株)オハラとの連携の下で、また本学同窓会の協力の下で10月よりトライアルで開設し、2025年度も継続されることになっていきます。

### 4. 中期計画の実行

2024年度は第2次中期計画(2020年度～2024年度の最終年でした。これまで歩みを振り返りつつ、子どもを取り巻く環境の変化に対応する質の高い保育・福祉の担い手を養成すること、また、保育者養成校を取り巻く急激な環境の変化に対応することを目指して、将来構想会議や理事会・評議員会で出され

た意見を基に、長期持続可能な保育者養成・保育者確保・養成校経営モデルの構築を含む新中期計画を策定いたしました。2025年度は、この第3次中期計画(2025年度～2029年度)を着実に実行して参りたいと思います。

### 5. ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底

2024年度は特に、2025年4月の改正私立学校法施行に向けた準備をいたしました。2025年度はこの新私立学校法に適切に対応するとともに、ガバナンスコードに則り、ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底に努め、社会から信頼される学校であるよう心がけたいと思います。

### 6. 施設の維持と整備

建物・施設については、必要な補修や整備をしつつ、また必要なICT環境を計画的に整えつつ、2025年度は、福祉の学校としてバリアフリーを実現する観点から、遅ればせながら、本館にエレベータを設置いたします。また、時代に先駆けた教育を行う学校の象徴として、学校の顔ともいえる本館の学生ホールの改装を行い、より魅力あるキャンパスにしたいと思えます。

上記の6点を重点項目としつつ、本学はこれからも、この地の保育・福祉の充実のために、主なる神から与えられている使命を精一杯果たして参りたく願っております。どうぞ皆様のご支援をお願い申し上げます。

# 2024年度 表彰者

## 眞鍋記念奨学金(後期)

2年 齋藤 汐里

(神奈川県立霧が丘高等学校 出身)



前期に引き続き、選んでいただけただこと大変嬉しく思います。和泉では、保育や福祉の専門的な知識だけでなく、人として生きていくために大事なことで、成長し続けることの大切さなども学ぶことができました。また、周りの方々の支えがあり、学びを深めることができたのだと強く感じています。今後も周りの方々への感謝を忘れずに、学び続ける人でありたいと思います。ありがとうございました。

2年 千葉 春奈

(日本大学 出身)



今回、表彰の名誉にあずかりましたのも、先生方をはじめ、職員皆様、和泉の仲間たち、そして家族、友人皆様のご支援とご指導のおかげと存じ、深く感謝しているところで

す。この2年間、学びを深め、自分の世界を広げていくこと、そして、忘れていた気持ちをたくさん思い出すことができました。

これからも、人の気持ちに寄り添うことを大切に、心が思わず動く発見をしていけるよう努め、子どもたちや周りの方々と共に価値を創造していきたいと思

専攻科 榎本 愛奈

(神奈川県立横浜立野高等学校 出身)



この度は、眞鍋記念特別奨学生に選んでいただき、大変嬉しく思います。専攻科で過ごした1年間を振り返り、温かく優しい友人、寄り添ってくださる教職員の方々などに支えられながら充実した学生生活を送ることができました。不安なことも多くありますが、3年間を通しての学びや友人と過ごした日々を糧に自分の強みとしてこれからも精進していきたいと思

1年 北嶋 桜乃

(神奈川県立厚木東高等学校 出身)



この度は眞鍋記念特別奨学生に選んでいただき、大変嬉しく思います。和泉での1年間の学びは

あつという間と感じる一方、とても充実した時間となりました。後期は初めての実習もあり、教科書だけではない現場のリアルも学ぶことができました。これから1年次の学びを基礎として、2年次の学びを積み重ねていけるよう、頑張っていきたいと思

1年 安田 有花

(S高等学校 出身)



この度は眞鍋記念奨学金奨学生に選出していただき大変嬉しく思います。後期は前期に比べて授業がより実践的になり、実習では子どもたちや利用者と一緒に座学だけでは得られない多くの学びを得る

ことができました。この1年で得た学びを生かし、今後も多くの学びを得られるよう精一杯頑張りたいと思

## 讃岐和家記念賞

2年 橋本 空

(和光高等学校 出身)



この度は讃岐和家記念賞を受賞することができ、光栄に思います。入学と同時にサークル活動が解禁され、学生会サークル部門として様々な活動に力添えできたこと嬉しく思います。困難もありましたが周囲の支えでここまで進むことができました。この先も保育・福祉に携わる者として支えていただいた分、多くの人を支えられるよう精進して参ります。

## 中島武夫記念賞

2年 小川 恵美

(聖望学園高等学校 出身)



2年間という短い期間でしたが、生徒と真剣に向き合い丁寧に指導して下さる先生方や共に支えあった学友、そして何より神様の愛と恵みにより私はここまで成長することができました。今後はこの受賞を励みに私自身も愛と奉仕を持って子どもと共に成長していきたいと思

## 学長賞(後期)

2年 芦川 希歩

(神奈川県立大磯高等学校 出身)



この度は学長賞という素敵な賞をいただくことができ、大変嬉しく思います。和泉での2年間は楽しいことだけでなく辛いこともあったにも関わらず、多くの仲間といつでも親身になって寄り添ってくださった教職員の方々のおかげで充実した日々を送ることができました。これから壁に当たることもあると思いますが、和泉で学び得たものを発揮しながら、周りの人への感謝を忘れずに頑張っていきたいと思

2年 山本ひかり

(相洋高等学校 出身)



この度は、学長賞という素敵な賞をいただくことができ大変嬉しく思います。2年間の学びを経て、自分の探究心に素直に向き合い、実際に学校の外に出て学びを深められたことはい経験となりました。日々切磋琢磨し、楽しみ合うことができる友人や、温かく支えてくださる先生方に出会えたことを大変幸運に思います。充実した学校生活を送ることができたことに感謝するとともに、和泉での2年間で人生の糧として、これからも学び続ける保育者でありたいと思

## ソーシャルワーク研究会

## 地域福祉ボランティア横地ゼミ

### 退任あいさつ

チャプレン・准教授 **和寺 悠佳**



学生、教職員が共にチャペルアワー(礼拝)に集められて御言葉をいただき、イエス・キリストの「愛と奉仕」のお姿に導かれて歩むという、恵みに満ちた日々が和泉短期大学にはあります。ここでの務めを与えられたことに感謝いたします。皆様のおかげに神様の祝福が豊かにあり、和泉短期大学が神様のみわざのためにますます用いられますように、お祈りいたします。

准教授 **横地 厚**



「社会福祉」教育政策と社会(児童の権利)「保育・幼稚園実習」の授業、そして「地域福祉ボランティア横地ゼミ」での活動を通じて、学生の皆さんと素晴らしい時間を過ごせたことを、心より感謝申し上げます。

学生の皆さんに「和泉短期大学で学べて良かった」と感じていただけたよう努めてまいりましたが、このような授業や活動を実施できたのも、ひとえに教職員の皆様の温かいご支援とご協力のおかげです。改めまして、深く御礼申し上げます。

皆様のこれからの歩みが更り多きものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

健康管理センター 看護師 **渋谷 智子**



健康管理センター看護師、相談支援員として12年間大変お世話になりました。

特に、先の見えないコロナ禍での学生支援は、私のかけがえのない経験となり、様々な支援の必要性を感じ、多くの学びを得ることができました。

和泉の皆様から、いつも温かく支えていただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 2025年度 新任教職員紹介

チャプレン・助教 **今村 愛喜**



「豊かに愛された幼児期を過ごせば、人生のどんな困難も乗り越えられる」と気付かされ、幼稚園教諭に。その後「死をも超える希望を伝えたい」との祈りから牧師・病院チャプレンへと導かれてきました。経験を生かし、本学のチャプレンとして皆様に神様の愛を楽しく伝えていきたいと思っております。どうぞよろしくお祈り致します。

庶務ユニット(経理・庶務担当) **砂田 光一**



4月より庶務ユニットの職員として働いております。身近に和泉の出身者がいるので、そのような場所働くことができ嬉しいです。また、クリスチャンなので、「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成が建学の精神」である和泉に携われることもとても感謝です。まだまだ未熟な者ですが、精一杯努めて参りますのでどうぞよろしくお祈り致します。

健康管理センター ウェルビーイングルーム スクールソーシャルワーカー **石井 聖子**



4月よりウェルビーイングルームの相談員として勤務することになりました。  
[Well] (良い) [being] (状態) 〓 体も心も元気が友人や教職員、地域の人など社会との温かいつつなく、充実したものになるようなお手伝いができるよう相談室の扉を開けてお待ちしております。

健康管理センター 看護師 **桑野 千種**



4月より保健室看護師として着任致しました。これまでは病院で看護学生と関わる業務に従事してまいりました。和泉短期大学では学生の皆さんが心身ともに健康で、学業に専念できるよう教職員の皆様と一緒にサポートしていきたいと思っております。今までの経験を活かし精一杯努めて参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

### 人事

退職(2024年12月31日付)

渋谷 智子 健康管理センター 看護師

退職(2025年3月31日付)

和寺 悠佳 チャプレン・准教授

横地 厚 准教授

幸若 晴子 健康管理センター 看護師

就任(2025年4月1日付)

山下 聖治 副学長兼認証評価連絡調整責任者(ALO)

松浦 美貴子 教務部長

松山 浩樹 地域連携推進センター長・図書館長

横川 洋平 入試広報部長

横川 剛毅 学生部長

矢野 由佳子 実習サポートセンター長

佐藤 美紀 専攻科ヒューマンケア専攻主任

任用(2025年4月1日付)

武石 宣子 特任教授

佐久間志保子 専攻科ヒューマンケア専攻特任教授

中野 志津江 専攻科ヒューマンケア専攻特任助教

今村 愛喜 チャプレン・助教

砂田 光一 庶務ユニット(経理・庶務担当)契約事務職員

島袋 真美 広報渉外ユニット

石井 聖子 健康管理センターウェルビーイングスクールソーシャルワーカー

桑野 千種 健康管理センター 看護師

任用[任命書](2025年4月1日付)

井狩 芳子 特命教授

武石 宣子 内部監査室長

昇任

矢野 由佳子 教授

中安 恒太 教授

前島 麻衣 専任講師

芹澤 薫 庶務ユニット(施設担当)兼広報渉外ユニットサブリーダー

高橋 明紀 学術情報ユニット(事務職員として試傭)

異動(2025年4月1日付)

須田 叔江 教育学習支援ユニット

### 表彰

永年勤続(30年)

三好 順平 学術情報ユニット主任

第14回2024年度ベストオブスタッフ賞(事務局長賞)

林 和也 広報渉外ユニット

## 新入生のことば



私は幼い頃から子どもと関わる仕事に憧れ、保育士を目指してきました。子ども一人ひとりの個性や気持ちに寄り添い、それぞれの成長に合わせた支援ができる保育者になりたいと考えています。和

児童福祉学科 大滝 絆央  
(東京都立翔陽高等学校 出身)



私が保育士を目指す理由は大好きな子どもとのそばで共に成長し応援してあげられるような保育士になりたいと思ったからです。その為にこの2年間保育と福

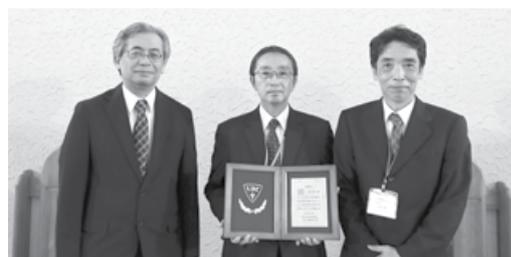
児童福祉学科 柳澤 若葉  
(向上高等学校 出身)



私が専攻科ヒューマンケア専攻へと進学を決めたのは児童福祉学科での学びを経て、幅広い年代の方がより良い生活・人生を送るための一助的な存在になれたらと考

専攻科ヒューマンケア専攻 橋本 空  
(和光高等学校 出身)

えたためです。そのためにこの1年間で様々な知識を取り込み、実習等で経験を積んで障がいのある方や高齢の方へ自分はどう関わっていきたくのかしっかりと向き合せて熟考していきたくです。良き仲間や先生方と共に1年間勉強に励み自己研鑽してまいります。



須田拓理事長／三好順平主任／平塚豊事務局長

## 学校法人和泉短期大学 永年勤続表彰

2025年5月19日(月)和泉クラーク・ホールに於いて、創立記念礼拝後に、教職員の永年勤続者表彰が行われました。学校法人和泉短期大学では、永年にわたり教学に力を尽くした教職員に対して表彰しています。

2025年度は、須田拓理事長から、学術情報ユニット 三好順平主任(勤続30年)に、表彰楯、記念品、賞金が贈呈されました。

## 地域連携

### 相模原市地域活動・市民活動ボランティア認定制度認定証授与

2025年2月4日(火)ウェルネスさがみはらにて「令和6年度 相模原市地域活動・市民活動ボランティア認定制度認定証贈呈式」が行われました。本学からは横地厚准教授、学生7名が出席し、本村賢太郎市長から認定証が贈呈されました。

この制度は本学と相模原市との包括連携協定に基づいて在学中に一定以上の地域活動・市民活動を行った学生に対して相模原市から認定証が贈呈されるものです。2024年度は2年生11名(ボランティア博士7名、ボランティア修士2名、ボランティア学士2名)、1年生9名(ボランティア修士2名、ボランティア学士7名)、一団体が認定されました。

和泉短期大学はこれからも学生と共に地域に貢献してまいります。

博士(150時間以上) 2年生 加藤 奈鈴、角田 結菜、中川 由美子、本間 星那、向山 愛純、歌川 大輔、宇山 花菜  
修士(90時間以上) 2年生 安齊 美羽、勝又 葵 1年生 小泉 奈那、谷合 美咲  
学士(30時間以上) 2年生 千葉 春奈、木村 舞  
1年生 中村 夕紗、北嶋 桜乃、藤岡 明日風、神庭 彩佳、阪口 円香、橋本 侑奈、矢田 妃依  
団体「地域福祉ボランティア横地ゼミ」



1年生



2年生

### 「国際ソロプチミスト相模」2024年度Sクラブ、シグマソサエティ助成金贈呈式

2025年2月20日(木)相模原市民会館会議室にて、『国際ソロプチミスト相模』(岩本一枝会長)から助成金の贈呈式があり、和泉短期大学からは佐藤学長、平塚事務局長が出席しました。国際ソロプチミスト相模から本学に対しての助成金(60,000円)は、2005年度から始まり本年度で20回支援していただいております。

貴重な助成金をハンドベル履修学生の依頼演奏、集中練習等に係る交通費、及び活動費等のハンドベル・クワイア活動に使用させていただきました。

#### 【和泉短期大学ハンドベル・クワイアプロフィール】

和泉短期大学は児童養護施設の保育者養成を目的に建学され、現在までに保育、幼児教育、社会福祉施設等で多くの卒業生が活躍しています。ハンドベル・クワイアは、選択科目となった「ハンドベルⅠ」「ハンドベルⅡ」「ハンドベルⅢ」「ハンドベルⅣ」の履修者によって構成され、千葉仁先生のご指導のもと授業及び放課後に練習を積み重ねており、2024年度は、前期1年生14名、2年生1名、後期1年生11名、2年生1名が履修しました。

特別礼拝やクリスマス行事等では欠かすことのできない存在として活躍し、その豊かで深い音色は周囲を温かく包みこんでいます。



## 卒業生の活躍 (第30回)

相模原市児童相談所 養護課 保育士

(二〇〇七年三月卒業生) 富岡 慧貴さん

私は現在、相模原市の児童相談所一時保護所で勤務しております。一時保護の対象年齢は原則0～18歳の児童です。児童達は虐待や非行等あらゆる理由で仕方なく、住み慣れた地域や家庭と離れ一時保護所で生活します。私はこれまで幼稚園やこども園等での勤務経験がありますが、現在の仕事に就いて印象的な出来事がありました。それは、ここに来る児童は大人の様子をよく見ていて、この大人がどんな人なのか、どう関わってよいか分からないことから私自身が受け止めてもらえず、全く話を聞いてもらえないという経験をしました。保育現場で15年以上勤務をした立場での自身の力不足を感じ、とても落ち込みました。一方で、私達が想像もできない程の逆境体験をしてきた児童と出会い、様々な背景を抱えた児童と信頼関係を作っていくことや、保育現場とは全く違った専門的業務を覚えていくことにも少しずつやりがいを感じられるようになりました。



先日、和泉で講義をする機会をいただき「保育・教職実践演習」授業のお手伝いをさせていただきました。私は和泉を卒業した今でも先生方や友人と繋がりがあり、人との出会いに恵まれています。懇意にしている先生の研究室に顔を出すと先生方はいつも笑顔で声を掛けてくださり、これが和泉の良さなのだと思います。又、ピアノ室に入ると当時の記憶が蘇り、友人と切磋琢磨しながらピアノ練習をしたことや、実習前には手遊び練習をし、時には恋バナをしたこと等、楽しかった学生生活の思い出が蘇ります。和泉で出会った友人とは今でも飲みに行く仲で、時には仕事について語りあうこともあり、和泉での出会いと思えば私にとって大きな財産です。自分の原点である和泉との繋がりを今後も大切にしていきたいと思っています。

## ウェルビーイングルームの開設について

教授 中安 恆太

本年度より、これまでの「学生相談室」を改め「ウェルビーイングルーム」を開設し、スクールソーシャルワーカー(以下、SSW)を配置しました。文部科学省の「第4期教育振興基本計画」では、ウェルビーイングについて「身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念」と示されています。ウェルビーイングルームは、相談窓口の機能があるため、学生が相談を通して、身体的・精神的・社会的に良い状態になっていくよう目指します。そのための指針として、「多様な相談について話を聴き、必要に応じて学内外の関係各所につないでいくこと」、「学生の置かれている状況改善や自己決定力を伸ばす(エンパワメント)ため、深刻な相談だけではなく、モヤモヤしたこと、言語化しづらいことを伝えられるようにすること、言語化しづらいことを伝えること、言語化したのは、「何となく気分が落ちている」、「何となくイライラする」等、明確に相談内容が決まらない状態でも相談して良いというメッセージを伝え、深刻な事態になる前に

話せる人の確保に繋げたい意図もあります。多くの人は、自身の悩みについてSSWをあげるには勇気がいるでしょう。悩みを伝えることで、被害が酷くなるのではないかとという不安や、親に心配をかけたくない、周囲に知られたくない等の心理が働き、「自分が我慢すれば良い」、「どうせ話しても無駄だ」という思いから、相談に繋がらないケースも多々あると推測しています。

日本政府に対し国連子どもの権利委員会からは、子どもの意見を表明する権利が尊重されていないことを深刻に懸念するという指摘がされています。意見を受けとめる大人側のあり方が試されてきています。ウェルビーイングルームでは、SSWが信頼できる相談者であると理解してもらうため、傾聴・承認する姿勢をまずは大切にし、その上で悩みを整理し、解決策を学生が主体的に考えられるよう引き出していきます。相談の全てが直ぐ解決に向かうわけではないですが「自分の気持ちを理解してくれようと努めてくれた大人がいた」という印象を与えられるかどうかウェルビーイングルームの大切な姿勢であると考えています。

## TOPICS

第59回卒業証書・学位記授与式、  
専攻科ヒューマンケア専攻 第15回修了証書授与式

2025年3月11日(火)、第59回卒業証書・学位記授与式、専攻科ヒューマンケア専攻第15回修了証書授与式が和泉クラーク・ホールで挙行政され、児童福祉学科173名、専攻科ヒューマンケア専攻19名が和泉短期大学を卒業しました。

卒業生や修了生は、グループアドバイザーが一人ずつ名前を呼び、佐藤学長より「卒業証書・学位記」が卒業生代表に手渡され、式後のグループミーティングでは、アドバイザーから一人ひとりに卒業証書学位記が手渡され、2年間の学生生活を振り返り名残を惜しみました。

4月から、保育所、幼稚園、児童福祉施設など、それぞれ専門職として新しい道に進みます。みなさんのこれからの活躍をずっと応援しています。ご卒業、おめでとうございます。



## 2024年度父母会役員(2年生)に記念品を贈呈

2025年3月11日(火)理事室において、2年間父母会役員としてご尽力いただいた2年生の父母会役員6名の皆様に、佐藤学長が感謝の意をお伝えし、渡辺和子著「置かれた場所で咲きなさい」に、佐藤学長のサインをし、記念品を贈呈しました。

役員の皆様、2年間ありがとうございました。



## 第61回児童福祉学科、第16回専攻科ヒューマンケア専攻入学式

2025年4月1日(火)、和泉クラーク・ホールにおいて2025年度の入学式を挙行政しました。2025年度は、児童福祉学科に127名の新入生、専攻科ヒューマンケア専攻に8名の保育士資格取得者の入学者を迎えました。

新入生はグループごとの記念写真撮影後、アドバイザーを囲んでミーティングを行い、これから始まる学生生活の夢を語り合いました。新入生が良き保育者、介護福祉士に成長することを願っています。



## 2025年新入生研修会開催

キリスト教信仰に基づく建学の理念を持つ和泉短期大学での学生生活の始まりに、今後の学びの礎を培うためのプログラムとして、4月4日(金)に新入生研修会を行いました。

第一部ではチャプレン今村愛喜先生が、和泉短期大学の歴史とキリスト教と保育・福祉の結びつきについてお話されました。新入生にとっては、和泉の歴史を知る良い機会になったと思います。第二部では日下部教会の斎藤彩先生が、音楽と講演を通して、キリスト教について親しみやすいお話で学生に伝えてくださいました。また、讃美歌の「主われを愛す」と「いつくしみ深き」を学生と歌い、その歌詞からキリスト教の愛と許しについてお話していただきました。

これから保育・福祉に携わる学生にとって、「キリスト教の愛と許し」が土台にあることの大切さを学ぶ良い機会となりました。



## 第37回介護福祉士国家試験結果

第37回介護福祉士国家試験の結果が、2025年3月24日(月)に発表されました。

和泉短期大学 専攻科 ヒューマンケア専攻の学生は19名受験し、18名が合格しました。合格基準は総得点125点に対し、得点70点以上の方です。合格率は78.3%。

和泉短期大学の合格率は94.7%です。一生懸命、真摯に授業、実習そして国家試験対策に取り組んだ成果です。合格おめでとうございます。



## 2024年度「和泉短期大学スプリングコンサート」開催

2025年2月28日(金)和泉クラーク・ホールにおいて「和泉短期大学スプリングコンサート」を開催しました。

当日は、地域の方々や教職員を含めおよそ350人の方にご来場いただきました。第一部は、本学オルガニストである石井三枝子さんのパイプオルガン演奏、第二部は、井上とも子さんによるチェロを高木佳那さんのピアノ伴奏とともにお送りいたしました。キリスト教音楽を中心に、和泉短期大学ならではのコンサートをお楽しみいただきました。

今後、地域の皆様にとりまして素敵なコンサートをお届けできるよう企画して参ります。多くの方のご来場、誠にありがとうございました。



## 創立69周年「創立記念礼拝」

和泉短期大学は創立69周年を迎え、2025年5月19日(月)、創立記念礼拝をおささげしました。

礼拝メッセージは須田理事長より「真の愛の奉仕者を育てるために」という題でお話いただきました。本当の愛の人格を持った保育者になるには、どんな子ども、どんな人でも愛すること、与えることができる人、そのような人格になるにはキリスト教信仰を大切に、礼拝を大切にすることが一番であると語られました。礼拝の中ではハンドベルクワイアによる「聖なる 聖なる」と聖歌隊による「主われを愛す」の賛美が捧げられ、主を賛美する喜びの時となりました。

本当の愛を知って保育者になる学生たちが、本当の愛で子どもたちを育てていくという和泉の使命をこれからも担ってまいります。



## 2025年度学友会主催「新入生歓迎大会及びスポーツ大会」開催

2025年4月19日(土)和泉短期大学4号館にて、学友会主催「新入生歓迎大会及びスポーツ大会」を開催しました。

午前は新入生歓迎大会。各グループの教室に分かれて、自己紹介やハチマキづくりを実施。その後アリーナへ移動し、アイスブレイクのじゃんけん大会と準備運動を行った後、当日のメインイベントであるグループ別対抗大縄跳び対決を行いました。午後のスポーツ大会では、アリーナではバスケットボール・ドッジボールを、リトミック室ではスポーツかるたを行いました。

屋内での活動でしたが、当日は天候にも恵まれ、笑顔あふれる楽しい活動になりました。

グループの垣根を越えた交流やスポーツを通して、新たな関係性を築くことへつながったかと思えます。



## 催し物のお知らせ

## 第56回いずみ祭開催決定

2025年10月25日(土)10時~15時  
和泉短期大学1号館 和泉クラーク・ホール

今年度もいずみ祭を開催します。おこさまからご高齢のかたまで楽しめる企画となるよう学生・教職員で準備を進めています。皆様のご来場をお待ちしております。

- (いずみ祭出店(展)予定)
- ・学生保育出店(ゲームや手作り企画)
  - ・サークル活動、自主企画発表
  - ・和泉短大びの展示
  - ・オレンジボン活動、キリスト教活動展示
  - ・近隣中学校吹奏楽部演奏
  - ・青葉二丁目自治会・福祉施設出店
  - ・相模原市保健センター健康測定コーナー
  - ・受験生相談コーナー
  - ・同窓会「いずみのひろっぱ」
  - ・食堂開放

同日開催 保証人会「実習・就職について」大学より説明

駐車場のご用意はありません。スクールバス、公共交通機関、自転車をご利用ください。スクールバスの時間は10月中旬にホームページでお知らせします。



## 2025年度リカレント教育プログラム 参加募集

毎回、卒業生はじめ多くの皆様にご参加いただいている現任研修・公開講座について、今年度第3回プログラムを下記の要領で開催いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時：2025年8月30日(土)12:50~16:00(予定)

テーマ：「ヒューマン・ソーシャルワークの今—保育・福祉実践における配慮・支援の視点を学ぶ—」

保育・社会福祉の実践者・当事者の語りによる深く広い視点から、ますます求められる「配慮を必要とする子どもや人への質の高い保育実践・福祉実践」について共に学びましょう！

対 談 「自閉症当事者の語る、必要な支援とは—当事者の体験と思いから学ぶ—」

実践報告 「発達障がいのある子どもへの支援の現状—それぞれに異なる支援の学び—」 など

申込詳細は本学ホームページをご覧ください。

## 地域の方へ学生食堂の開放

和泉短期大学では青葉地区にお住まいの方へ学生食堂を開放し、どなたでも利用可能となっています。安くメニューが豊富な学生食堂は、ランチタイムには席がなくなってしまうほどの人気ぶり。利用いただいている方は、学生や子育て中の親子とおしゃべりを楽しんでいる姿を見かけます。本学では地元密着型として地域と様々なつながりを持っています。地域に根差した子育て支援プログラムを学生たちの手で企画・運営を行う「はっぴい」と、近隣未就園児の親子に本学の保育室を開放する「すまいるい」参加者にも利用いただいています。



## — 2024年度決算書概要説明 —

### 厳しさを増す運営状況

2025年5月23日(金)開催の理事会、評議員会において2024年度決算が承認されました。

2024年度決算の概要を説明いたします。学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を表す「資金収支計算書」、経営状態を表す「事業活動収支計算書」、財政の安全性を表す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第103条及び学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成しています。

本法人の財務に関する公表は、「財務計算に関する書類」とともに、決算書の概要として、資金収支決算概要、活動区分資金収支決算概要、事業活動収支決算概要、貸借対照表決算概要を公表します。

**資金収支計算書**は、2024年度中の全ての資金の流れを表示した計算書です。資金収入合計は3,199,172千円、資金支出合計は3,379,472千円で、180,300千円支出超過です。

2024年度末支払資金である翌年度繰越支払資金(現金預金)は707,560千円で、前年度繰越支払資金(現金預金)887,860千円に比べて資金収支差額は、180,300千円減少しました。

現金預金減少の主な要因は学生数減少による学納金収入減少、受験者数減少と神奈川県離職者等委託訓練事業による委託生の増加により前受金収入が減少したことによります。

**事業活動収支計算書**は、当該年度の学校法人の収入及び支出の均衡状況を明らか

にし、学校法人が健全であるかを示す計算書です。3つの収支区分(①教育活動収支、②教育活動外収支、③特別収支)から構成されています。

經常収入(教育活動収入485,627千円と教育活動外収入23,730千円)509,357千円の72.4%を学納金に依存しているため、学生数の減少は、本法人の運営に甚大な影響を及ぼすこととなります。事業活動収支差額(基本金組入前当年度収支差額)△150,605千円から第1号、第3号基本金5,238千円を基本金に組入れた後の当年度収支差額は、155,843千円支出超過でした。

教育活動支出の大半を占める人件費は、378,904千円で人件費比率は、74.4%です。教育研究経費は174,429千円、管理経費は106,334千円でした。

3つの区分の合計額である**事業活動収入計**は509,357千円、**事業活動支出計**は、659,962千円でした。

**貸借対照表**は、2024年度末における当法人の資産の部、負債の部、純資産の部の3つの要素から構成され、学校法人の**財政状態**を明らかにする計算書です。有形固定資産の土地、建物、構築物、機器備品等については、取得価額から減価償却累計額等を控除した金額で表しています。

資産の部合計は、7,937,762千円です。退職給与引当金と前受金が大部分を占める負債の部合計は、293,564千円です。基本金と繰越収支差額で構成されている純資産の部合計は、7,644,198千円です。負債の部合計と純資産の部合計は、7,937,762千円です。

事務局長 平塚 豊

## — 2025年度予算書概要説明 —

### 学生数の減少と施設・設備充実への支出による厳しい予算編成

2025年3月22日(土)評議員会、理事会において2025年度予算が承認されました。計算書類の予算書は、資金収支予算書と事業活動収支予算書で構成されます。

2025年度予算計算書類の概要を説明いたします。

**資金収支予算書**の資金収入合計は、609,339千円、資金支出合計は1,094,454千円です。

資金収支差額は、485,115千円支出超過になる見込みです。これは、学生数減少(新入生が対前年比18名減)による学納金と前受金等の減収。その他の支出として

### 学校法人和泉短期大学の財政見通しについて

少子化による18歳人口の減少、保育志望者の激減により、保育者を養成する短期大学の経営環境は年々急速に悪化しています。

本学は、經常収入の72.4%を学納金に依存している現状において、入学者の定員確保、離学者の防止は喫緊の課題となっています。

2024年度は、教育環境整備事業を継続し、教室プロジェクター取替更新、教卓周りの機材の統一などを実施し、さらに受変電設備の取替更新、1・2号館の給水・揚水設備劣化診断、電気錠・入室管理ターミナルの取替更新、自動ドア開閉装置の交換等を行いました。

2025年度は、教育環境整備事業を継続するほか、福祉を標榜する学校として、バリアフリーの観点からエレベータを設置いたします。近年は、幅広い年齢層の方や様々な困難を抱えた方の入学があり、教職員が一人となり、学生へのサポートを一層強化いたします。さらに学生ホールを改修して、学び舎をさらに魅力あるものにしたと考えています。

相模原市に移転後48年が経過しておりますので、校舎等の計画的な修繕も行い

エレベータ設置、学生ホール改修、第2号引当特定資産等として預け替えを予定していることが大きな要因になっています。

**事業活動収支予算書**は、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の3つに区分され、区分ごとに収支差額を求めます。3つの区分の合計額である事業活動収入計は431,950千円です。基本金組入額合計は、126,341千円です。事業活動支出計は、予備費30,000千円を含め820,969千円です。2025年度事業活動収支差額は、389,019千円支出超過と、大変厳しい予算編成になっています。

時代にあわせた改修や設備の充実には多額の経費を要しますが、経営の効率化とのバランスを保ち、一層の財政基盤の強化を図りながら取り組みます。

「2025年度学校法人和泉短期大学の基本構想」は、次の6つの柱です。

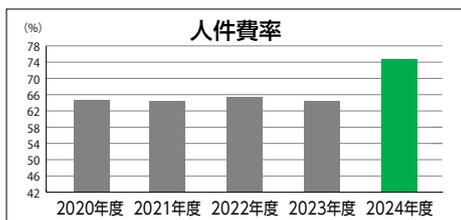
1. 建学の精神の継承と深化、2. 将来構想の策定、3. 地域連携・リカレント教育の推進、4. 中期計画の着実な実行、5. ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底、6. 施設の維持と整備により事業展開して参ります。

2025年度は「学校法人和泉短期大学第3次中期計画15のビジョン」(2025年度～2029年度)の初年度となります。毎年度、全教職員でPDCAサイクルによる振り返りを行い、理事会、評議員会に進捗状況を報告して、策定した計画を着実に実行したいと思います。

建学の精神である「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」、スクールモットーである「愛と奉仕」に基づいた本学の特色のある教育を展開し、学生にとって居心地の良い明るいキャンパス、地元密着型、実力養成型の短期大学を目指して教職員、法人関係者一体となり努力して参ります。

事務局長 平塚 豊

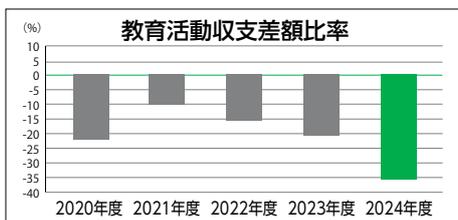
## — (2020年度～2024年度) 財務比率推移(グラフ)と説明 —



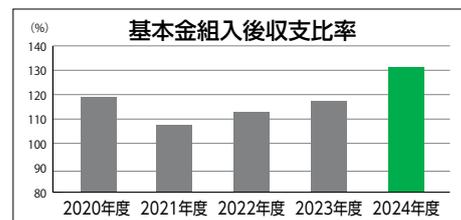
經常収入に対する人件費の割合。50%以内が目安です。

人件費は、經常支出の中でも最大の比重を占める支出です。

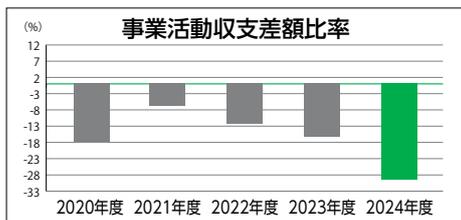
人件費が膨らみ収支状況が悪化しています。



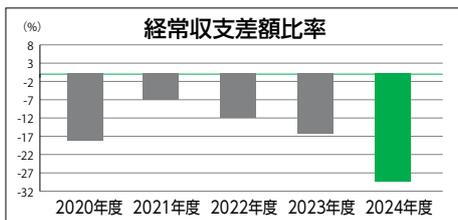
本業である教育活動の収支バランスを表す比率。学校本来の教育活動による収支差額を表わしている。本業である教育活動収入の範囲内でどの程度余裕を持って運営できているかを把握することができます。



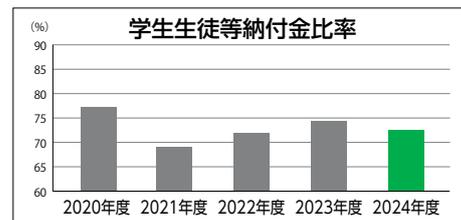
事業活動収入から基本金組入額を控除した額に対する事業活動支出が占める割合を示す比率。90%以上になると経営が困難になると言われています。臨時的な固定資産の取得等による基本金組入が著しく大きい年度において、一時的に上昇する場合があります。5年間、学納金減収により、100%を超えています。



旧帰属収支差額比率。学校法人の純利益を表わす、重要な財務比率です。比率がプラスで大きいほど自己資金が充実しています。プラス分から将来の施設設備の取替更新の余裕を示します。マイナスが何年も継続して行くことと経営は窮乏し、資金が枯渇します。10%以上を経営安定の指標にしています。5年間はマイナスの状況です。



經常的な活動に関する収支バランスを表す比率。この比率は、臨時的な収支を考慮しない通常の事業活動による収支バランスを示す比率のため、支出超過の場合には財政がひっ迫していることを表しています。支出超過分が、減価償却額の範囲内であれば、資金ショートを起こすことはありません。経営の健全性を表す指標です。



經常収入に占める学生生徒等納付金収入の割合です。經常収入に占める学生生徒等納付金への依存度が高いため、学生数の減少は、経営に甚大な影響を及ぼすため補助金、その他の収入の増額を語る必要性があります。2020年度から給付型奨学金の補助金増収により低下しています。

## — 資金収支計算書概要 —

2024年度決算・2025年度予算

### 収入の部

(単位：千円)

科目	2024年度決算額	2025年度予算額
学生生徒等納付金収入	368,825	296,480
手数料収入	4,320	4,980
寄付金収入	2,253	1,500
補助金収入	69,568	64,238
国庫補助金	69,513	64,195
地方公共団体補助金	55	43
付随事業・収益事業収入	31,994	31,053
受取利息・配当金収入	23,730	21,900
雑収入	8,667	11,799
前受金収入	82,380	106,700
その他の収入	2,716,244	164,133
資金収入調整勘定	△ 108,809	△ 93,444
<b>資金収入合計</b>	<b>3,199,172</b>	<b>609,339</b>
前年度繰越支払資金	887,860	695,891
<b>収入の部合計</b>	<b>4,087,032</b>	<b>1,305,230</b>

### 支出の部

(単位：千円)

科目	2024年度決算額	2025年度予算額
人件費支出	369,076	430,441
教育研究経費支出	127,316	175,390
管理経費支出	98,985	104,599
施設関係支出	3,586	227,374
設備関係支出	4,994	6,457
資産運用支出	2,771,656	112,900
その他の支出	6,760	8,719
[予備費]		30,000
資金支出調整勘定	△ 2,901	△ 1,426
<b>資金支出の部合計</b>	<b>3,379,472</b>	<b>1,094,454</b>
翌年度繰越支払資金	707,560	210,776
<b>支出の部合計</b>	<b>4,087,032</b>	<b>1,305,230</b>
<b>資金収支差額</b>	<b>△ 180,300</b>	<b>△ 485,115</b>

## — 事業活動収支計算書概要 —

2024年度決算・2025年度予算

(単位：千円)

科目	2024年度決算額	2025年度予算額
事業活動収入の部		
学生生徒等納付金	368,825	296,480
手数料	4,320	4,980
寄付金収入	2,253	1,500
経常費等補助金	69,568	64,238
付随事業収入	31,994	31,053
雑収入	8,667	11,799
<b>教育活動収入計</b>	<b>485,627</b>	<b>410,050</b>
事業活動支出の部		
人件費	378,904	456,335
専任教員給	194,248	205,806
兼任教員給	11,906	12,869
専任職員給	148,515	169,217
兼任職員給	8,731	17,956
役員報酬	1,700	1,830
退職給与引当繰入額	10,644	29,745
退職金	3,160	18,912
教育研究経費	174,429	222,308
(減価償却額)	47,112	46,918
管理経費	106,334	112,326
(減価償却額)	7,327	7,727
(広報宣伝費)	17,492	20,394
徴収不能額等	0	0
徴収不能額	0	0
<b>教育活動支出計</b>	<b>659,667</b>	<b>790,969</b>
教育活動収支差額	△ 174,040	△ 380,919
外収支		
受取利息・配当金	23,730	21,900
教育活動外収入計	23,730	21,900
教育活動外支出計	0	0
教育活動外収支差額	23,730	21,900
経常収支差額	△ 150,310	△ 359,019
特別収支		
資産売却差額	0	0
その他の特別収入	0	0
特別収入計	0	0
資産処分差額	295	0
その他の特別支出	0	0
特別支出計	295	0
特別収支差額	△ 295	0
[予備費]		30,000
基本金組入前当年度収支差額	△ 150,605	△ 389,019
基本金組入額合計	△ 5,238	△ 126,341
当年度収支差額	△ 155,843	△ 515,360
前年度繰越収支差額	2,411,196	2,051,865
基本金取崩額	0	0
翌年度繰越収支差額	2,255,353	1,536,505
事業活動収入計	509,357	431,950
事業活動支出計	659,962	820,969
<b>事業活動収支差額(基本金組入前当年度収支差額)</b>	<b>△ 150,605</b>	<b>△ 389,019</b>
事業活動収支差額比率(旧帰属収支差額比率)	-29.6%	-90.1%

## — 2024年度 貸借対照表概要(2025年3月31日) —

(単位：千円)

資産の部			
科目	2024年度末	2023年度末	増 減
固定資産	7,217,638	7,194,787	22,851
有形固定資産	2,594,330	2,640,485	△ 46,155
土地	1,928,418	1,928,418	0
建築物	565,376	611,294	△ 45,918
構築物	1,828	2,610	△ 782
教育研究用機器備品	8,518	10,330	△ 1,812
管理用機器備品	3,704	1,876	1,828
図書	86,486	85,957	529
特定資産	3,252,718	3,183,712	69,006
第2号基本金引当特定資産	100,000	100,000	0
第3号基本金引当特定資産	344,718	342,712	2,006
減価償却引当特定資産	2,249,000	2,193,000	56,000
退職給与引当特定資産	199,000	188,000	11,000
施設拡充引当特定資産	360,000	360,000	0
その他の固定資産	1,370,590	1,370,590	0
電話加入権	690	690	0
金銭の信託	600,000	600,000	0
定期預金	769,900	769,900	0
流動資産	720,124	898,629	△ 178,505
現金預金	707,560	887,859	△ 180,299
未収入金	8,769	7,042	1,727
貯蔵品	3,567	3,591	△ 24
立替金	87	0	87
仮払金	141	137	4
<b>資産の部合計</b>	<b>7,937,762</b>	<b>8,093,416</b>	<b>△ 155,654</b>

(単位：千円)

負債の部			
科目	2024年度末	2023年度末	増 減
固定負債	201,868	192,040	9,828
退職給与引当金	199,318	189,490	9,828
預り敷金	2,550	2,550	0
流動負債	91,696	106,572	△ 14,876
未払金	2,901	310	2,591
前受金	82,380	100,040	△ 17,660
預り金	6,385	6,222	163
仮受金	30	0	30
<b>負債の部合計</b>	<b>293,564</b>	<b>298,612</b>	<b>△ 5,048</b>
純資産の部			
科目	2024年度末	2023年度末	増 減
基本金	5,388,845	5,383,608	5,237
第1号基本金	4,894,127	4,890,896	3,231
第2号基本金	100,000	100,000	0
第3号基本金	344,718	342,712	2,006
第4号基本金	50,000	50,000	0
繰越収支差額	2,255,353	2,411,196	△ 155,843
翌年度繰越収支差額	2,255,353	2,411,196	△ 155,843
<b>純資産の部合計</b>	<b>7,644,198</b>	<b>7,794,804</b>	<b>△ 150,606</b>
負債の部、純資産の部	7,937,762	8,093,416	△ 155,654

注記 1. 減価償却額の累計額の合計額 2,299,107千円  
 2. 翌会計年度以降の基本金への組入額 0千円

## 2025年度 和泉短期大学「愛のいずみ基金奨学金」(給付型奨学金)のお願い

学校法人和泉短期大学の原点であるララ物資の精神を引き継ぐために本学教職員・法人関係者の方々からの寄付を中心とした本学独自の給付型奨学金基金を2018年度より設立しました。

現在の社会・経済環境が甚だ厳しい状況にあります但し本学独自の愛のいずみ奨学金基金の趣旨をご理解のうえ、和泉短期大学の学生の支援充実のため、一人でも多くの方々のご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

**募金目標金額** 3,000,000円  
**募金募集期間** 2025年6月～2026年3月(第8期)  
**募金金額** 1口5,000円  
**払込方法** 郵便振替口座  
 口座番号 00280-6-105705  
 口座名 学校法人 和泉短期大学  
 愛のいずみ基金奨学金

### 所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

### 法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人 和泉短期大学 庶務ユニット(法人担当)  
042-754-1133

## 2025年度「教育環境充実資金募金」のお願い

学校法人和泉短期大学は1956年4月東京都世田谷区中町に「バット博士記念養成所」を開設し、同年5月「現任訓練講習会」を開催したことに始まります。1960年、その現任訓練機関が「玉川保育専門学院」となり、1965年に「和泉短期大学」が設立され、2024年5月に学校法人和泉短期大学は創立69年を迎えました。

学校法人和泉短期大学を卒業された卒業生は20,420名の方々の働きや努力と活躍により発展成長したものと深く感謝申し上げます。

和泉短期大学は、教育の充実を図り、学修環境整備、施設設備の維持整備を目的に2025年度も「教育環境充実資金募金」を行うことになりました。

皆様には出費多難な折とは存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**募金対象事業** 1. 1号館 教室プロジェクター交換工事  
 2. 1号館 教室教卓周辺機器の整備  
 3. ICT環境の整備

**募金目標金額** 10,000,000円  
**募金募集期間** 2025年6月1日～2026年3月31日(第14期)  
**募金金額** 1 個人 1口 5,000円  
 2 法人 1口 10,000円

### 所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

### 法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。

詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人 和泉短期大学 庶務ユニット(法人担当)  
042-754-1133

## 2024年度 和泉短期大学『愛のいずみ基金奨学金募金』報告

2024年度「愛のいずみ基金奨学金募金」報告を致します。多くの皆様にご賛同いただき、心から感謝申し上げます。

ご寄付総数 61件 寄付総額 1,384,469円

寄付者一覧(敬称略) <2024年11月21日～2025年3月31日>

大谷孝次/金成泰宏/川井昶彦/紅林明子/手塚育代/松岡潤/渡辺さなみ/和泉短期大学後援会 会長 雑賀えり子/匿名希望(1件) 以上9件

## 2024年度『教育環境充実資金募金』報告

2024年度「教育環境充実資金募金」報告を致します。多くの皆様にご賛同いただき、心から感謝申し上げます。

ご寄付総数 59件 寄付総額 969,000円

寄付者一覧(敬称略) <2024年11月21日～2025年3月31日>

大谷孝次/沖津みや子/金成泰宏/嶋田順好/国際ソロプチミスト相模 会長 岩本一枝

以上5件